

昌子の広場

第55報

小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10
 自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626
 事務所 Tel(Fax)0725-53-4451
 Email masakokob@yahoo.co.jp
 http://masako-hiroba.info/
 ホームページもご覧下さい
 yahoo の小林昌子で検索出来ます



目次	
・井坂市長市政運営方針発表	P1
・平成18年度予算を点検	P2-4
・昌子の広場	P4

井坂市長市政運営方針を発表 平成18年度予算を点検

井坂市長初の市政運営方針を発表

井坂市長は今回初めての予算策定にあたり、市政運営方針を発表しました。全文は私のホームページに掲載しています。以下は私が常々主張している事項についての感想です。

税収の増加にも拘わらず縮小予算

今年は景気の回復の影響か、久し振りに市税収入が増加したにも拘わらず予算規模は前年に比べ14億円縮小。基金からの繰り入れ（貯金の取り崩し）を半減するなど、市長の財政健全化の強い意気込みを表している予算。

疲弊した組織・制度・慣習への対応

守り続けるべきものは守り、見直すべきものは見直し、改革すべきものは改革する決意を表明しているものの、一部ではあるが相も変わらず庁内禁煙が守れない等全ての職員にこれを徹底できるか、市長の真価が問われる。

不祥事を起こした入札・契約制度については、一般競争入札の拡大、郵便入札などの新たな入札制度の導入等を検討課題に残す等、改革のスピードが遅すぎる。

府中駅前再開発

公益部分の見直しにより財政負担を軽減する決意が見られるが、将来和泉市の財政面での足かせにならない論拠を明確に示して貰いたい。

箱物行政からの脱皮が不十分

魅力ある農林業の振興と称して、国と府との共同事業泉州東部農用地整備事業を推進し、その地に農業拠点施設を建設する計画がいよいよ実現の段階に入

った。民間活力を導入した方式に期待を抱いているが、この事業が果たして成り立つ事業なのか。厳しく評価することが必要。

槇尾川ダム

前市長と違って環境面の対応について意欲が見られる。現在ダム本体着工に向かったの工事で、多くの森林が伐採され、森閑とした周辺は大きく破壊されつつある。本当の環境対策はダムを中止し、治水対策は河川改修や遊水地など流域全域で対応することが本筋。

ようやく進む子ども達への対応

市内全小学校への監視カメラやオートロックの導入が図られ、順次第二次耐震診断を実施するなど、子ども達の安全への取組に進展が見られる。校庭の芝生化も一部ではあるが始まった。一方少人数学級の実現は道遠しの感あり。

進む子育て支援

待機児童削減の為、トリベール和泉地区に新たな保育園、南松尾地区には従来の幼稚園と保育園を廃し、新たに保育園を設置する等、力が入れている。

財政再建について

現在実施中の財政再建計画に加えて、現行の事務事業見直し基本方針を改訂し、「行財政改革」という新たな枠組みに基づき、現下の厳しい財政環境と今後の不透明な社会経済情勢を乗り切っていくことのできる、足腰のしつかりした行財政体質への転換を図るとしている。待ったなしの今、確実な進展を期待。

平成18年度予算を点検

和泉市の18年度予算(以下本年度予算)が議会に提案されました。

H17年度予算と比べたら

<歳入> (単位百万円)

	H18	H17	増減
市税収入	20,012	19,587	425
地方交付税	8,000	7,900	100
国・府支出金	10,231	9,928	303
繰入金	1,300	2,500	-1,200
市債発行	3,276	2,838	438
その他	6,581	7,327	-746
計	49,400	50,080	-680

<歳出> (単位百万円)

	H18	H17	増減
議会費	391	391	0
総務費	3,938	4,387	-449
民生費	19,772	19,287	485
衛生費	5,074	5,330	-256
農水費	483	571	-88
商工費	698	625	73
土木費	5,053	5,320	-267
消防費	1,441	1,414	27
教育費	6,686	7,590	-904
公債費	5,780	5,612	168
諸支出金	31	216	-185
予備費他	53	57	-4
計	49,400	50,800	-1,400

H17年度予算との比較したのが上記表です。収入に当たる市税収入等は景気の好転などを受けて増加しています。平成13年来減り続けていたがようやく底を打った感があります。

財政再建型予算

一方予算規模は収入の増加にも拘わらず縮小しています。財政健全化の期中にありそれを優先した緊縮予算と言えるでしょう。

歳入不足で貯金を13億円取り崩し

予算規模を縮小したにも拘わらず、歳入不足で基金を13億円取り崩し、帳尻を合わせる苦しい台所事情です。後で述べますが市の貯金は急速に減少し、財政調整に充てる事が可能な基金残高は8億円迄減少しています。5年前には100億円以上もあったのと比べると減少の激しさが伺われます。来年度も同程度の歳入不足になると、基金からの取り崩しでは

対応出来ず、赤字予算に転落します。借金の返済に当たる公債費は増加の基調に変わりありません。生活保護等に充てられる民生費も同様増加が続いています。

財政健全化計画と比べたら

昨年度から始まった財政健全化計画と比較すると

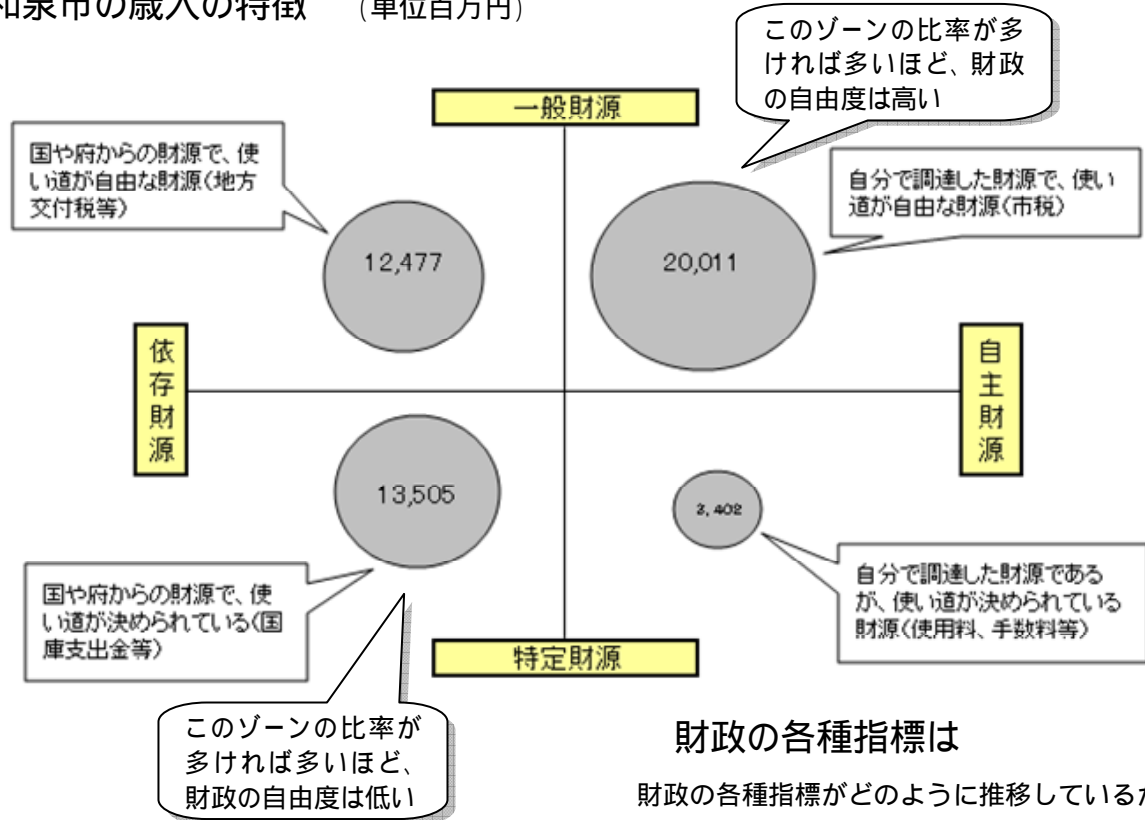
(金額単位百万円)

		H18計画	H18予算	評価
歳入	市税	20,297	20,012	×
	地方交付税	8,141	8,000	×
	市債	3,900	3,275	○
	その他	17,463	16,813	×
	計	49,801	48,100	×
歳出	人件費	11,842	10,434	○
	扶助費	12,502	12,704	×
	公債費	6,198	5,779	○
	物件費	6,222	5,957	○
	補助費	5,081	4,969	○
	繰出し金	4,865	5,319	×
	普通建設事業費	4,148	3,980	○
	その他	369	258	○
	計	51,227	49,400	
	歳入-歳出	-1,426	-1,300	○
経常収支比率	100.3	103.7	×	
公債費比率	15.4	15.2	○	
地方債残高	54718	49825	○	
基金残高	財政調整基金	2088	273	
	減債基金	15	217	
	公共施設整備基金	205	312	
	小計	2308	802	×
現在高計	3709	2208	×	

財政再建計画と比べると

- 歳入は
市税収入の増加にも拘わらず、市債分を除いて11億円のマイナス
- 歳出は
ほぼ全ての項目で削減されているが、生活保護費等の扶助費と特別会計への補填が増大している。
- その結果
厳しい歳出削減の結果地方債の残高が減少するなど一定の効果が見られるが、扶助費の増加と歳入の低迷等で経常収支比率が100%を突破。財政の硬直化が一層進展している。100%を超えるということは、自由に使える財源だけでは、減らす事の出来ない支出を賄えないということを表しており、危機的状況と言えます。都市では70~80%程度が望ましいとされています。
更に問題なのは前に述べました基金の大幅減少で、8億円の基金残高では来年度予算が組めるのかどうか心配になる数字です。
これが底をつき、赤字額が約60億円を超えると財政再建団体の指定を受けることになり、鉛筆一本買うのも自由にならない厳しい事態となります。

和泉市の歳入の特徴 (単位百万円)



和泉市の歳入を・どこから調達するか・使い道は制約されているか の2点から見たのが上図です。自分で調達出来るものと、国や府から調達する財源はほぼ半々。自分で稼げるのは収入の半分しかない状態。一方使い道については自由に使えるのが6割強、使い道が決められているのが4割弱。

東京都多摩市と比較すると

これをほぼ同一財政規模の東京都多摩市の平成15年度と比べると、各ゾーンの比率は(単位%)

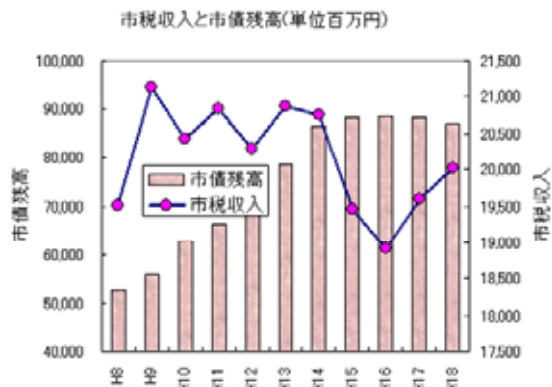
H18年度	40.5	6.9	25.3	27.3
	47.4		52.6	
多摩市	59.6	6.7	8.7	25.1
H15年度	66.3		33.7	

これを見ると自主財源比率(+)が当市の方が約20%も低い事がわかります。市税収入が64億円少なく、逆に財政調整の為の地方交付税が和泉市は80億円と多摩市の2億円に比べて圧倒的に多い。多摩市に比し和泉市は国や府に大きく依存しており財政基盤が劣っていることがよくわかります。

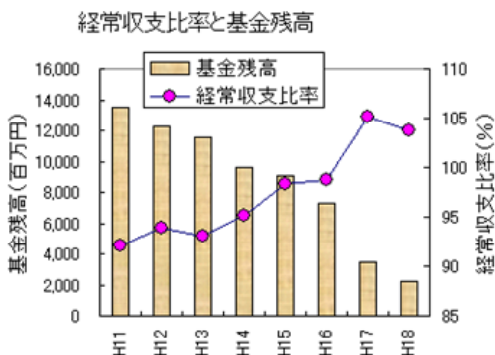
財政の各種指標は

財政の各種指標がどのように推移しているかを見ましょう。

- ・市税収入と市債残高
市税収入がようやく回復基調になり、借金の市債残高も増加が止まっています。



- ・経常収支比率と基金残高
経常収支比率が100%を突破し、基金残高は急減



和泉市の予算を家計に例えたら

単位(円)		家計		予算		単位(百万円)	
	年額	月額	年額	年額			
収入の合計	5,000,000	416,667	49,400	49,400	歳入の合計		
家計で得た収入	2,240,182	186,682	22,133	22,133	市税、負担金、手数料など		
親からの補助	2,296,761	191,397	22,692	22,692	地方交付税、国・府支出金など		
定期預金の解約	131,579	10,965	1,300	1,300	繰入金		
借入れ	331,478	27,623	3,275	3,275	市債		
支出の合計	4,973,988	414,499	49,143	49,143	歳出の合計		
食費	1,056,073	88,006	10,434	10,434	人件費		
医療費、学費など	1,285,830	107,152	12,704	12,704	扶助費		
ローンの返済	585,020	48,752	5,780	5,780	公債費		
光熱水費、庭木の剪定など	602,935	50,245	5,957	5,957	物件費		
家電の修理、家の補修費	502,935	41,911	4,969	4,969	維持補修費		
貯金	0	0	0	0	積立金		
子どもへの仕送り	538,360	44,863	5,319	5,319	繰り出し金		
車の購入など	402,834	33,570	3,980	3,980	投資的経費		
預金残高	223,482		2,208	2,208	基金残高		
借入れ残高	8,803,138		86,975	86,975	市債残高		

年間家計規模が 500 万円として計算しますと
 ・収入の内給与等は月額で 20 万円以下で、同額程度を親からの仕送りで賄い、それでも不足の為、貯金の解約と新たな借金をしてつないでいる自転車操業の家計です。
 ・支出は車の購入などの先につながる支出は僅かで、食費など減らせない支出が大部分です。その様な状況の中で子どもへの仕送りをしないといけない厳しさです。
 借金は家計の 2 倍弱にものぼり、貯金は雀の涙程度しか残っていません。

昌子の広場

ホームレスの方への衣料提供について
 提供先の NPO が衣類の置き場不足で受け入れが出来ませんので、当分の間中止させていただきます。又受け入れが再開しましたら、お願いいたします。ご協力有り難うございました。

昌子の日記

- 2/1 事務所運営委員会、会派会議
- 2/2 和泉中央駅会報配布、子育てサロン、都市計画審議会傍聴
- 2/3 和泉中央駅会報配布、生活排水適正処理推進大会
- 2/4 後援会総会、ソロプチバザー準備
- 2/5 ソロプチバザー、大阪湾沿岸市民サミット
- 2/6 和泉中央駅会報配布
- 2/7 信太山駅会報配布、予算説明会
- 2/8 北信太駅会報配布、市政相談会
- 2/9 光明池駅会報配布、介護保険運営協議会傍聴、住基ネット判決
- 2/10 高齢社会をよくする会・大阪介護研究会
- 2/11 「防災とボランティア」市民の集い
- 2/12 新春茶会
- 2/13 和泉中央駅会報配布、会派予算説明会
- 2/14 和泉府中駅会報配布、過大規模校についての意見交換会、信太学園ボランティア
- 2/15 和泉中央駅会報配布
- 2/16 ソロプチ例会
- 2/17 南部市議会議長会総会
- 2/18 信太山駅会報配布、環境くらぶ定例会、泉南市を

元気にするシンポジウム

- 2/20 入札・契約に関する特別委員会
- 2/21 和泉中央駅会報配布、大阪府温暖化防止推進委員エコバッグ作り
- 2/22 事務所運営委員会、議会運営委員会、市政相談会
- 2/23 和泉府中駅会報配布、小地域ネットワーク会議
- 2/24 和泉 9 条の会結成総会
- 2/26 国民投票公開討論会、パチンコ店対策協議会
- 2/27 イラクと自衛隊～サマワ取材でみてきたもの
- 2/28 信太学園ボランティア

事務所行事 > いずれも小林昌子事務所で

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
 事務所 TEL 0725-53-4451
 (事務所 緑ヶ丘1-3-15)

万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

- ・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)
- 参加費 1,300円(3回分)
- ・41回 3/11(土) 万葉の四季(春・夏)
10時から、いつもの時間と違います(要注意)
- ・42回 4/8(土) 菜摘ます乙女 14時から
初瀬・朝倉の万葉(含む次回現地散策事前説明)
- ・43回 5/14(日) 万葉バスツアー(現地散策)
古代びとの歌ごころの原郷を訪ねて
初瀬・朝倉～宇陀

ちぎり絵

- ・講師 西原志満子さん
- ・3月8日(水) 13時～16時
- ・材料費実費 参加費無料

パソコン講座(参加費無料)

- ・毎週 火、木、土曜日 14時から約2時間

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:～21:30